

令和 2 年 6 月 8 日

報道関係各位

新型コロナウイルス感染症のPCR検査結果の誤通知について

新型コロナウイルス感染症に係る事務において、「陽性」が判明した患者に誤って「陰性」と告知していたことが判明しました。ご本人様をはじめ、関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

今後はチェック体制を見直すとともに、再発防止を徹底してまいります。

記

1. 概 要

PCR検査センターにて採取した新型コロナウイルス感染症患者の陽性通知については、検査機関から報告された検査結果を保健所医師から本人へ通知することとしています。

今回、民間検査機関より「陽性」と報告のあった方を誤って「陰性」と通知していたことが判明しました。

2. 経 緯

◆ 6月6日（土）

207例目の濃厚接触者として、PCR検査センターで当日採取された検体を民間の検査機関へ渡す。

民間の検査機関からは、翌日が休みになるため夜通し検査を行うとのことで、通常行っている結果の電話報告は行わないとの連絡がある。

◆ 6月7日（日）

午前3時47分、民間検査機関から検査結果がFAXで自動送信される。

午前8時頃、出勤した職員がFAXを確認し「陽性」を見落とす。

午後12時半頃、保健所医師より「陽性」患者（219例目）へ電話にて「陰性」と誤通知。

◆ 6月8日（月）

午後16時頃、民間検査機関より正式に検査報告書を受領し、誤通知が判明。

3. 原 因

通常、電話での事前連絡とFAXにて結果確認を行っているが、今回、民間検査機関の休みと重なりFAXのみの確認になったこと。

また、FAXの結果報告書に記載された「検出せず」の文言を「陰性」と勘違いしてしまったこと、そして複数の職員で確認をする体制ができていなかったことが原因。

4. 「陽性」患者（219例目）の状況

「陽性」患者に対しては、6月8日（月）17時15分、保健所長よりPCR検査結果の誤通知について説明しお詫びするとともに、今後の保健所の対応（入院調整、疫学調査）について協力をお願いし了承を頂いた。

なお、現状についてお伺いしたところ、昨日の「陰性」通知の連絡後から207例目の他の濃厚接触者である家族とともにマスク着用し外出した。また、現在も症状はないとのことであった。

5. 対応と再発防止策

全検査機関から届いた全ての検査結果に関して、過去に遡って確認を行ったところ間違いは今回の1件のみであった。

今後は、検査結果確認は必ず複数職員で行うこと。電話での事前連絡ができない場合は電話ができる時間に改めて連絡するか、もしくはメール等で一報を行うなど、ダブルチェックを徹底することで再発防止を図ってまいりたい。

【お問い合わせ】

北九州市 保健福祉局 保健衛生課（担当：東田、木原）
電話：093-582-2430

北九州市 保健所 保健予防課（担当：古賀、柳井）
電話：093-522-8711